

2023広島—長崎リレーマラソン チーム“和”メンバー参加

チーム和 宇野 昭正

広島・長崎に原爆が投下されてから今年で78年目になります。

核兵器は多くの人々の命を一瞬にして奪い、地球環境を破壊する非人道的で残酷な最悪の兵器です。日本国憲法第9条では国権の発動たる戦争の放棄を謳っています。

核兵器と戦争のない平和な世界の実現を願いながら、広島から長崎まで襻りレーしました。

今年チーム“和”（43名）のメンバーとして参加しました。

8月6日 8時15分黙祷、同時刻、岡山チームももたろうパートナーズの人達は岡山運動公園で黙祷、ブラインドランナーさんと伴走、“ピースラン”リレーをしました。

原爆ドーム—西広島、廿日市—宮内串戸（2.87km、2.11k）。大野浦—玖波 5.17km
原爆ドーム9時スタート時 30度越える暑さ、さらに2日前右脚ふくらはぎを痛め、びっこを引きながらの走りでした。廿日市から越田さんと共走、痛みを我慢しながら9分kmペースを維持。宮内串戸で次走者の篠原さんに襻を渡し、ホッとしました。大野浦—玖波（5.17k）単独走。初めてのコース、襻りレーメンバー梅田さん・公文さんに共走させてもらう。去年単独走は荷物



（ナップザック）を背負って走り大変しんどかった。当区間は越田さんが玖波まで荷物を運んでくださったので大変助かりました。

予想外に小さなアップダウン多く、何度も足を止め、walking・joggingを繰り返し、二人に同走。玖波駅中継地点到着して今日の“リレー・ラン”は終わった！心の中で安堵しました。

8月7日午後：関門トンネル下関口ー関門トンネル中央 0.4km 以後フリー



トンネル入口で襷を受け継ぎ人道トンネル中央へ。涼しく気分ルン、ルン！福岡ランナーに襷リレーし、門司港駅2.7kmまで歩く。秘策：午前中、前泊ホテルに宅配してたトランクを関門トンネル出口の売店（閉鎖）裏に留置き、門司港駅までトランクを引きずり、荷物を担いで歩いた。門司港駅から糸島市の友人宅に行き一泊。旧交を温めました。

8月8日：鳥栖ー吉野ヶ里ー神埼

16km単独走 6日、7日痛かった右ふくらはぎ痛がほぼ完治、トランクは宅配便で自宅へ。痛みあれば中止しようと思っていたが・・・、11時50分鳥栖駅前をスタート、

コース地図を頼りに鳥栖市街地ジグザグコース2.5km進み長崎街道（34号線）に辿り着いた。荷物を赤ちゃん抱っこに担ぎ、ポーチを首から肩に掛けて、長崎街道をひたすらWALK&JOGGING。19年初参加の時宮内さんが襷リレーランしたコース、スマホで宮内さんと昔話実況中継、汗びっしょり！カンカン照り！元気をもらった！

吉野ヶ里遺跡手前で“折り鶴駅伝チーム”（約200名各区分2km）と出会い、エールを交換・写真を撮りあって、互いに無事完走を祈念。100kmマラソンのゴール手前の走りを思い浮かべて、神埼駅前までの3kmを走りきった。15時10分ゴール。夕方、台風6号接近で風雨が強まり予定変更の知らせ。チーム和は解散、自由行動。襷リレーは続行、**23時9分**、越田代表他数名が平和公園にゴール。私は諫早ターミナルホテル泊。

8月9日：諫早ー喜々津6.34km 襷リレー担当区分 篠原さんと共走決行。

薄暗い風雨の中5時10分、諫早駅前スタート。身の上話、レースの状況など語り合いながらwalkingで進む。びしょ濡れで6時20分喜々津駅前ゴール。長崎本線運休のためバスで長崎駅へ、西九州新幹線に乗り帰宅。37kmの襷リレー区間を完走し、達成感を味わいました。

エピローグ：今日、世界各地で戦争・テロ・内乱が起こり、ウクライナ侵攻では核兵器使用が懸念される状況。今私達は“核兵器と戦争のない平和な世界の実現

を願う”志を少しでも多くの人に届けられたらと思いつつ漣りレーしました。また核兵器抑止論なる危険な思想が世界の指導者の中に台頭してきたのには心が痛みます。戦争とは？平和とは？何かをもう一度考えようと思います。

